

## サルスベリとユリ根

サルスベリの樹皮がはがれている光景をよく見かける。なぜはがれるのか、木にとって、どんな役目があるのかと疑問を持ち、色々調べる中で、それらしい理由が判ってきた。もちろん勝手な推測ですが、木肌を見ると、茶色から緑色までの斑模様です。

緑の時は葉の役割をして、光合成をして、葉緑素によって木の成長を促進させる。しかし、光が当たると茶色に変色して、その役割を終え、皮が取れ、新たに緑色の木肌が再生する。ということではないかと思われ  
ます。皮が取れたとき、木肌は白ですが爪でひっかいて見ると濃い緑色が出てきます。おそらく、柔らかい紫外線を吸収するためでしょう。

茶碗蒸しのユリ根はどんな花が咲くのだろうか、と鬼百合を描いているときに、ふと思った。周りの人に聞いてみると、ある人は鬼百合を食べたことがある。美味しかったと言い、ある人はヤマユリを茶碗蒸しにしたことがあるといい。また、家の庭に植えていて、白い花が咲いる。と様々な情報が得られた。家で検索してみると、ユリ根の生産は北海道で、全国の90%とのこと、品種はコオニユリでオニユリとの違いはヌカゴが付かなく小ぶりでにがみが少ないとのこと、花は鬼百合とよく似ており、花が咲くとそく摘花して球根を育てるそうです。